

2021年3月23日

**岩国事業所に高機能不織布の開発・製造拠点を新設
～岩国市と建設協定の調印式を実施～**

当社は、岩国事業所(山口県岩国市)に、マスクや医療用防護服の部材として使用される高機能ポリプロピレン不織布の開発・製造拠点を新設し、2022年7月の生産開始を目指します。本日、岩国市役所にて建設協定に関する調印式が開催されました。当拠点は、経済産業省の「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」を活用して建設します。



岩国事業所



調印式の様子

(右から) 福田良彦岩国市長、福田浩治山口県商工労働部長、
当社西山重雄専務執行役員

新型コロナウイルスの感染拡大当初、マスクや医療用防護服の需給が逼迫したことにより、部材として使用されるポリプロピレン製メルトブローン不織布やスパンボンド不織布の、国内における安定供給の重要性が指摘されています。当社はこれを受け、経済産業省からの補助金を活用してポリプロピレン不織布の製造拠点を岩国事業所内に新設し、高機能不織布の安定供給の実現に貢献します。

また当拠点では、アフターコロナの時代を見据え、耐久性や集じん効率などを向上させたより高機能な不織布や、地球環境にやさしい原料を使用した不織布の開発にも注力します。岩国事業所がマザー工場としての役割を担い、提携工場の協力を得ながら、高機能不織布市場や環境対応不織布市場の拡大をグローバル規模で推進してまいります。

本日岩国市役所にて開催された建設協定に関する調印式には、岩国市の福田良彦市長、山口県の福田浩治商工労働部長をはじめ多数の関係者が出席し、当社より出席の西山重雄専務執行役員は「マスク用不織布部材の国内サプライチェーン強化に貢献したい」と抱負を述べました。

新拠点の概要

- ・所在地: 山口県岩国市灘町1-1(東洋紡株式会社岩国事業所内)
- ・建物面積: 1,607平方メートル
- ・生産品目: ポリプロピレン製メルトブローン不織布、スパンボンド不織布
- ・着工/稼働: 2021年4月(予定)/2022年7月(予定)
- ・生産能力: 年間1,200トン(最大)
- ・設備投資額: 約16億円

以上

<お問い合わせ先>

東洋紡株式会社

サステナビリティ推進部 広報グループ

(本社) 電話:06-6348-4210 FAX:06-6348-3443

(東京) 電話:03-6887-8827 FAX:03-6887-8829

E-mail: pr_g@toyobo.jp